

会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回桜学園コミュニティ・スクール（CS）推進会議	
開催日時		令和5年5月18日 開会9：30 閉会11：30	
開催場所		桜学園つくば市立桜中学校 会議室	
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課	
出席者	委員	野村光良、中埜貴元、水谷浩子、後藤美千代、鈴木清次、橋本幸雄、猪野研一、久松正樹、吉田博、白砂統己、細田潤、片岡均、石井かおる、中泉正市、天貝貢、樋口弓子、宮本孝礼、飯岡達郎 桜中学校：校長 嶋田稔、 教務主任 熊谷悟 栄小学校：校長 三輪俊一、 教務主任 川田玲美 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 岡野真弓	
	その他		
	事務局	教育局長 吉沼正美 学び推進課課長 岡野知樹 学び推進課参事 久松和則 生涯学習推進課課長補佐 色川純子	
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数 0人
非公開の場合はその理由			
議題		1 学校運営の基本方針について 2 学校教育活動の紹介 3 熟議「地域を生かした学園づくり」 4 その他（推進会議の今後の予定）	
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会 議 次 第	1 開会 2 選任通知書の交付 3 教育長あいさつ 4 自己紹介 5 つくば市コミュニティ・スクールについて 6 座長・副座長の選出 7 協議		

<審議内容>

- 1 開会
- 2 選任通知書の交付（吉沼教育局長から代表者へ）
 - ① 選任通知書交付（代表者 天貝委員）
 - ② 地域学校協働活動推進員あいさつ（代表者 野村委員）
3名紹介 吉田委員・天貝委員・酒井委員（欠席）
- 3 教育長あいさつ（吉沼教育局長が代読）
- 4 自己紹介
- 5 つくば市コミュニティ・スクールについて（社会教育主事 渡邊）
- 6 座長・副座長の選出
座長：五頭委員
副座長：久松委員
- 7 協議 座長欠席のため、久松委員（副座長）が進行

<協議1>

(1) 学校運営の基本方針について

- ① 学園グランドデザイン説明
桜学園長桜中：嶋田校長
- ② 小学校グランドデザイン説明
栄小：三輪校長 九重小：小林校長 栗原小：岡野校長
- ③ 中学校グランドデザイン説明
桜中：嶋田校長
- ④ グランドデザインについて補足（久松副座長）
質疑応答 → なし → 賛同多数（挙手）

(2) 学校教育活動の紹介

<協議2>

- ① スポーツフェスティバルについて（野村委員）
- ② 九重小学区の活動について（吉田委員）
 - 1) 九重小通学路・危険箇所改善の要望
 - 2) おやじの会
- ③ 栗原小学区の様子について（天貝委員）
 - ・地域住民の協力が得やすい。
 - ・新設校の学区問題が上がっている。
- ④ 県PTA連絡協議会の現状について（樋口委員）
 - ・先生方が、県P連の活動についてほとんど知らない。
 - ・つくば市の県P連脱退が続いている。
 - ・県P連のHPを必ず見て、情報を得てほしい。

— 休憩 —

<協議3> 熟議：地域を生かした学園づくり

ファシリテーター：熊谷教務主任（桜中）

テーマ「桜学園の今の子供たちはどのように見えますか」

「CSを通して、学園・小、中学校として、保護者として、地域としてできることは」

- ① グループ協議 20分間
- ② 情報共有（グループ代表者発表）・児童生徒の実態 ☆対策等

- グループ1
- ・コミュニケーション能力の低下
 - ・個性が強い。
 - ・地域の中で（外で）遊ばない。
 - ・受け身的な子が多い、指示待ち。
 - ・自転車の乗り方、一か所に集まっている。
- ☆地域・学校・親のコミュニケーションが必要ではないか。
 ☆地域人材を使って（人財バンク）
 ☆体験活動を行わせてあげたい。
- グループ2
- ・ゲーム時間が長い
 - ・昔よりもおとなしいか
- ☆児童生徒にあいさつをしっかりとさせたい。
 ☆草刈り等、地域活動を入れたい。
- グループ3
- ・不登校の増加
 - ・体育等でのけがの増加
 - ・外遊び、体力の低下
 - ・虫歯が少なくなった（家庭教育の成果）
- ☆金田台地域の生態調査が進んでいる（筑波大学）。自然観察会への参加をお願いしたい。
- グループ4
- ・地元外から入ってきた住民が増えている。多様性を重視してほしい。
 - ・児童生徒と教師の信頼関係をより強めたい。
- グループ5
- ☆不登校対応が必要
 - ☆防災教育
 - ☆地域行事への参加
- グループ6
- ・コミュニケーション不足。先生は、忙しい手を止めて、子供の話聴いてほしい。
 - ・あいさつできない。
 - ・栄・九重・栗原で、地域、子供たちの様子は違う。お互いに情報共有をしていくことが大切。
- ☆不登校問題。子供が学校に合っていないのか？多様性を含めて、視点を変えて話し合っていかなければならない。

〈その他〉CS 推進会議の予定について（栄小三輪校長）

○年4回開催予定

令和5年 6月28日（水）午前中 栄小

令和5年12月 1日（金）九重小

令和6年 2月 2日（金）栗原小

令和5年度第1回桜学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和5年5月18日(木)

9:30～

場所：桜中学校 会議室

次 第

1 開 会

2 選任通知書交付

3 挨拶

4 説明事項

つくば市のコミュニティ・スクール導入について

5 座長・副座長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 学校の教育活動や地域の活動事例の紹介

(3) その他

・コミュニティ・スクール推進会議の今後の予定について

7 閉 会

令和5年度 桜学園コミュニティ・スクール推進会議
(第1回：5月18日 木曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出席	欠席
1	(2) 地域住民	野村 光良	のむら みつよし	R5地域コーディネーターR5桜中後援会長	出席	欠席
2	(2) 地域住民	中埜 貴元	なかの たかゆき	国土地理院勤務	出席	欠席
3	(2) 地域住民	水谷 浩子	みずたに ひろこ	R4学校評議員	出席	欠席
4	(1) 児童・生徒の保護者	五頭 泰誠	ごとう やすまさ	R5桜中PTA会長R5CS推進会議副議長	出席	欠席
5	(3) 各学校長・教職員	嶋田 稔	しまだ みのる	R5桜中校長	出席	欠席
6	(4) 学識経験者	酒井 政彦	さかい まさひこ	R5栄小コーディネーター主任児童委員 元栄小校長	出席	欠席
7	(2) 地域住民	後藤美千代	ごとう みちよ	金田台の生態系を守る会	出席	欠席
8	(2) 地域住民	鈴木 清次	すずき せいじ	桜川漁業協同組合代表理事組合長	出席	欠席
9	(2) 地域住民	橋本 幸雄	はしもと ゆきお	栄幼稚園園長	出席	欠席
10	(1) 児童・生徒の保護者	猪野 研一	いの けんいち	R5栄小PTA会長	出席	欠席
11	(4) 学識経験者	久松 正樹	ひさまつ まさき	R4栄小校長R5CS推進会議副議長	出席	欠席
12	(3) 各学校長・教職員	三輪 俊一	みわ しゅんいち	R5栄小校長	出席	欠席
13	(1) 児童・生徒の保護者	吉田 博	よしだ ひろし	R5九重小コーディネーター	出席	欠席
14	(2) 地域住民	白砂 統己	しらすな もとき	R4学校評議員委員おやじの会会長	出席	欠席
15	(2) 地域住民	細田 潤	ほそた じゅん	R4学校評議員	出席	欠席
16	(2) 地域住民	片岡 均	かたおか ひとし	R4学校評議員	出席	欠席
17	(1) 児童・生徒の保護者	石井かおる	いしい かおる	R5九重小PTA会長	出席	欠席
18	(3) 各学校長・教職員	小林真理子	こばやし まりこ	R5九重小校長	出席	欠席
19	(2) 地域住民	中泉 正市	なかいずみ まさいち	元PTA会長 R4学校評議員 学校環境整備	出席	欠席
20	(4) 学識経験者	天貝 貢	あまがい みつぎ	R5栗原小コーディネーター 元PTA会長 R4学校評議員	出席	欠席
21	(2) 地域住民	樋口 弓子	ひぐち ゆみこ	元PTA会長 R4学校評議員 現県PTA連絡協議会役員	出席	欠席
22	(2) 地域住民	宮本 孝礼	みやもと たかひろ	郵便局長	出席	欠席
23	(4) 学識経験者	宮本 健次	みやもと けんじ	元栗原小校長	出席	欠席
24	(1) 児童・生徒の保護者	飯岡 達郎	いいおか たつろう	R5栗原小PTA会長	出席	欠席
25	(3) 各学校長・教職員	岡野 真弓	おかの まゆみ	R5栗原小校長	出席	欠席

つくば市コミュニティ・スクール推進会議開催要項

(開催)

第1条 教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第47条の5に規定する学校運営協議会の設置及び運営に関する検討を行うため、指定する小中一貫型小学校・中学校（つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則（昭和62年つくば市教育委員会規則第8号）第5条に規定する小中一貫型小学校・中学校及び義務教育学校において、コミュニティ・スクール推進会議（以下「推進会議」という。）を開催する。

(定義)

第2条 この要項において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) コミュニティ・スクール 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定する学校運営協議会をいう。
- (2) 学園等 つくば市立小学校、中学校及び義務教育学校管理規則第5条に規定する小中一貫型小学校・中学校及び義務教育学校をいう。

(検討事項)

第3条 推進会議は、次に掲げる事項を検討する。

- (1) コミュニティ・スクールの設置及び運営に関する事項
- (2) 前号に掲げるもののほか、コミュニティ・スクールの推進に関し必要な事項

(構成)

第4条 推進会議は、学園等ごとに、次に掲げる者のうちから、教育委員会が選任した者30人以内をもって構成する。

- (1) 当該学園等に在籍する児童又は生徒の保護者のうちから、学校長が推薦する者
 - (2) 学園等の所在する地域の住民のうちから、学校長が推薦する者
 - (3) 各学校長並びにその他の教職員
 - (4) 学識経験者
 - (5) 関係行政機関の職員
 - (6) 前各号に掲げる者のほか、教育委員会が適当と認める者
- (開催期間)

第5条 推進会議は、学園等ごとにおおむね1年間開催する。ただし、コミュニティ・スクールを設置したときは、その日の前までとする。

(座長等)

第6条 推進会議に座長及び副座長を置く。

- 2 座長及び副座長は、構成員の互選により定める。
- 3 副座長は、座長に事故があるときは、座長となる。

(庶務)

第7条 推進会議の庶務は、学園等及び教育局生涯学習推進課において処理する。

(補則)

第8条 この要項に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この要項は、令和4年5月1日から施行する。

「生きる力」の育成

協働的な
学び

人との
かかわり

地域と
ともに育む

共に学ぶ



学び合い・教え合い



学び合い・教え合い

共に磨く



小中連携豊かな心育成事業



学園あいさつ運動

共に鍛える



桜中体育祭



学園スポーツ交流大会



桜学園

学園要覧 令和5年度

夢を持ち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成



栄小学校



九重小学校



桜中学校



栗原小学校

桜学園 つくば市立

栄小学校	つくば市金田5-4	〒305-0018	TEL029-857-2037	FAX029-857-6179
	<HP>	http://www.tsukuba.ed.jp/~sakae/	<E-mail>	sakae01@tkb.ed.jp
九重小学校	つくば市上ノ室2-1-26	〒305-0023	TEL029-857-2036	FAX029-857-6209
	<HP>	http://www.tsukuba.ed.jp/~kokonoe/	<E-mail>	koko01@tkb.ed.jp
栗原小学校	つくば市栗原2-0-18	〒305-0001	TEL029-857-2049	FAX029-857-6315
	<HP>	http://www.tsukuba.ed.jp/~kurihara/	<E-mail>	kuri01@tkb.ed.jp
桜中学校	つくば市さくらの森3-2	〒305-0019	TEL029-857-2038	FAX029-857-6342
	<HP>	http://www.tsukuba.ed.jp/~sakura/	<E-mail>	sakura01@tkb.ed.jp

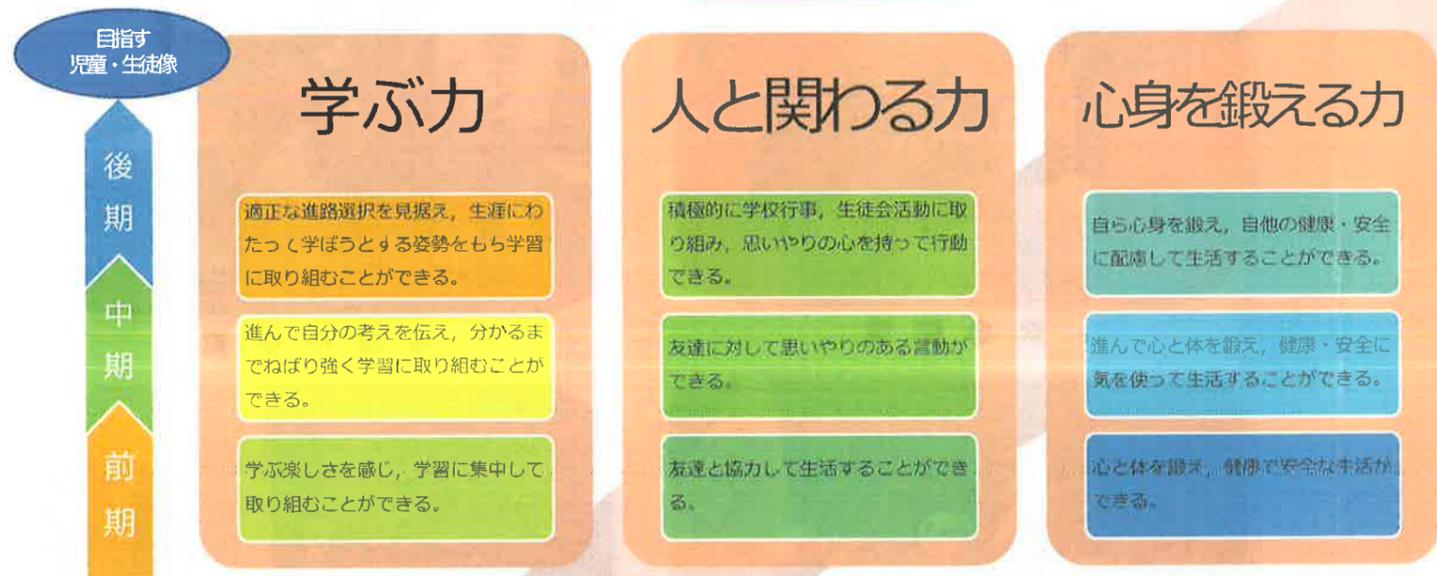
桜学園が進める小中一貫教育

つくば市教育の
基本理念

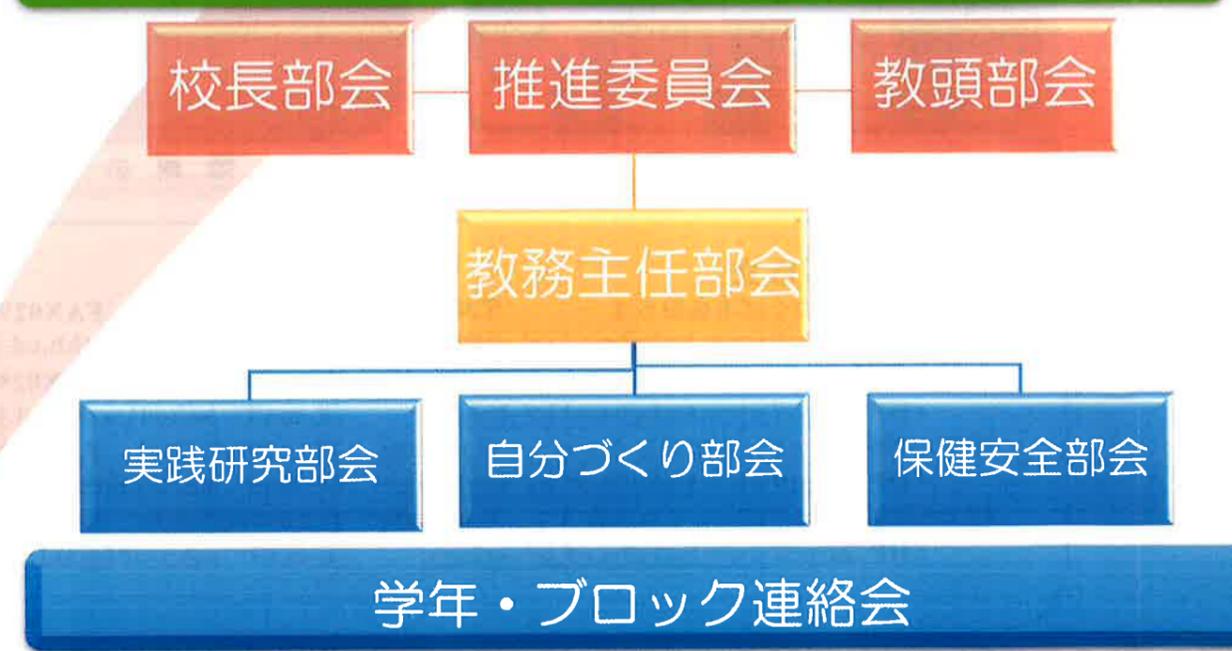
夢に向かってよいよ未来をひらく
「学び」の実現

輝く未来

研究テーマ「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成」



桜学園小中一貫教育推進組織



具体的な取組

実践研究部会

- ☆主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して
- ☆「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践
- ☆「学習系統表」「指導の構想・重点」の活用
- ☆学園共通の「学習の手引き」の活用
- ☆「UDの視点による授業改善」マニュアル活用
- ☆桜学園漢字・計算力テスト、ことわざ検定
- ☆つくばスタイル科と各教科・領域を関連させた授業実践(キャリアパスポートの活用)
- ☆小小、小中連携授業
- ☆発信型プロジェクト学習
- ☆考えを深め合う活動
- ☆桜学園クリーン作戦



7年生徒の交流



小中連携
(3年8年防災授業)

自分づくり部会

- ☆桜学園共通 生活目標の実践
- ☆生徒指導部会での情報交換
- ☆小中連絡会(6年・7年, 6年・9年)
- ☆桜学園マナーアップ運動
- ☆桜学園いじめゼロフォーラム
- ☆みんなのやくそくファイブの実践
- ☆生徒指導系統表の活用



あいさつ運動(小中合同)

健康安全部会

- ☆桜学園共通 健康安全目標の実践
- ☆地域防災訓練の実施(引き渡し訓練, 桜学園防災連絡会議)
- ☆地域の人材を生かした防災
- ☆9年間を見通した体力づくり(体力テストの分析と体力向上の共通実践)



学園防災連絡会議

令和5年度 桜学園つくば市立九重小学校グランドデザイン

〈本県教育の目標〉
ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性を培う
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

学園教育目標 夢をもち、自立して
社会に貢献できる児童・生徒の育成

校 訓 まじめになるう
人につくそう 正しく強くなるう

〈つくば市の目指す学園・学校像〉
みんなが幸せを実感できる
学園・学校
～自己実現できる学校・みんなで支え
合い、みんなが生き生きした学校～

目指す学校像

- ・子供にとって幸せを実感できる学校
- ・教師にとって能力が発揮できる学校
- ・家庭や地域に信頼され 開かれた学校

目指す児童像

- ・主体的に学ぶ児童《知》
- ・思いやりのある児童《徳》
- ・心身共にたくましい児《体》

目指す教師像

- ・使命感・情熱に満ちた教師
- ・指導力があり信頼される教師
- ・夢を育む人間性豊かな教師

〈学校経営方針の重点〉 「活力あふれる学校づくり」

- 児童一人一人が、楽しく充実した生活が送れる学校
- 教職員の能力を十分に発揮しチームとして取り組める学校
- 保護者・地域との連携・協働による地域とともにある学校

〈組織目標〉 自ら学び、伝え合い、良さを認め、 高め合うことができる児童の育成

- 「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善
- ・自ら学ぶための課題解決的な学習の設定と単元構成の工夫
- ・思いやり考えを伝え合い良さを認め合う交流の場の設定
- 特別活動の充実
- 道徳活動の充実

学び合う 【知】

《重点》

- ①主体的に学びに向かう態度の育成
 - ・学ぶ意欲を高める課題設定と単元構成の工夫
 - ②対話的な学びを引き出す協働的な授業の展開
 - ・自分の考えを伝え合う時間の設定で考えが深まる授業展開
 - ③「分かる」授業のための1人1台端末を活用した指導の工夫
 - ・個別最適化学習・指導体制（一部教科担任制）
- 【数値目標】
- ・自ら学び伝え合う授業実践…学校評価肯定評価 90%以上 (R4:87%)

認め合う 【徳】

《重点》

- ①児童が活躍できる場の設定や特別活動の充実
 - ・係・委員会活動の活性化（児童主体で動ける体制づくり）
 - ②よりよく生活する力を育む指導の充実
 - ・自己有用感・自己肯定感を高める活動の工夫
 - ・「道徳」を要とした心の教育の充実
- 【数値目標】
- ・学校が楽しい…学校評価肯定評価 90%以上 (R4:89%)

鍛え合う 【体】

《重点》

- ①体力づくり活動の充実
 - ・「体育」を要とした体力づくり（教科担任制の導入）
 - ②保健・安全教育の徹底
 - ・防災訓練、情報モラル教室、性に関する指導等の充実
 - ③家庭と連携した心身の健康づくり
 - ・定期的な教育相談の実施
- 【数値目標】
- ・体力診断テスト…A+Bの割合 40%以上 (R4:35%)

連携し合う 【繋】

《重点》

- ①積極的な情報の発信・共有
 - ・HP・メール配信の充実、学校評価の有効活用
 - ②このえボランティアの積極的な活用
 - ・人材バンク整備（環境整備、読み聞かせ、GT等）
 - ③家庭・地域・関係機関との連携
 - ・児童館、おやじの会との連携協力、CSの推進
- 【数値目標】
- ・開かれた学校…学校評価肯定評価 92%以上 (R4:90%)

〈安心安全な学校づくり〉

- 教職員の危機管理の徹底と共通理解・チーム対応
児童の命を第一に考えた危機管理の徹底と共通認識
- 児童一人一人の心の居場所となる学校・学級づくり
- 地域や学園と連携した学園・学校防災

〈教職員の資質向上〉

- 服務規律の確保及びメンタルヘルスケア
- PDCAサイクルによる教育の質の向上
- 教育の質を落とさず、子供と向き合うための働き方改革
 - ・日課の工夫と学期末短縮日課週間の設定
 - ・在校等時間の適切な管理と教職員の意識改革

本校の教育目標
夢や目標に向かって 自ら学び、力を合わせ、前向きに取り組む児童の育成

〈学園研究のテーマ〉

自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成
～主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して～



令和5年度 つくば市立栄小学校 グランドデザイン

【目標像】

茨城教育プラン

一人一人が輝く教育立案を目指して
～子どもたちの自主性・自立性を育もう～

- 1 社会全体による子どもたちの自主性・自立性の育成
- 2 確かな学力の習得と活用する力の育成
- 3 生涯にわたる学習と文化芸術、スポーツ活動の推進
- 4 誰もが安心して学べる教育環境づくり

目指す教師像

- 「子ども目線で考えることができる教師」
- 自らの人間性・社会性・専門性を磨く教師
 - 児童・保護者・地域から信頼され、慕われる教師
 - 明るく積極的な教師

輝く瞳をもつ子どもの育成を目指して

- 1 「確かな学力」を育むために、少人数・ＴＴ指導等を活用し個に応じた指導を行う。
- 2 「豊かな心」を養うために、人を思いやる心を育て、望ましい集団づくりに努める。
- 3 「健やかな体」を育成するために、自ら進んで健康安全を実践する児童を育てる。
- 4 信頼され、活力のある開かれた学校づくりに努める。
- 5 授業力・人間力を高めるための研修を推進する。

つくば市の目指す学園・学校像

みんなが幸せを実感できる
学園・学校
～ 自己実現できる学校・
みんなで支えあい
みんなが生きた学校～

学校教育目標

認め合い学び合い、自分で考え行動する児童の育成

目指す児童像

進んで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

組織目標

- 個に応じたきめ細かな指導を通して、自ら学ぶ意欲を高め、生きる力の育成を図る。
- 子どもたちの「心の居場所」となる信頼感と安心感のある環境づくりに努める。

学園研究テーマ

自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成
～主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して～

目指す学校像

- 「楽しい学校・安全な学校」
- 安全で安心して学べる学校
 - 一人一人の児童が輝く活力ある学校
 - 児童と教師が信頼で結ばれた学校

【具体的施策と目標値】

学びのプロジェクト 学びあいプラン

確かな学力を育む教育の推進

- 分かる授業の展開
- ・個に応じた学習指導を目指す多様な授業の提供や教科担任制の推進
- ・「教え」から「学び」へ、個々の学力を高める工夫
- ・GIGAスクール構想による学校ICT教育の推進

生徒指導の充実プロジェクト ふれ合いプラン

豊かな心を育む教育の推進

- 夢・感動のある楽しい集団づくり
- ・「居場所づくり」、「絆づくり」を目指した学級経営の推進
- ・児童の主体的活動を引き出すための児童主役の学校行事の実施
- ・思いやりの心を育てる「特別の教科道徳」の指導の工夫

安心・安全プロジェクト 健えあいプラン

健やかな体を育む教育の推進

- 健康・体力の向上
- ・基礎体力アップを目指した運動習慣づくり、運動能力向上に向けた体育科学習指導の工夫
- ・コロナウイルス等の感染症対策の徹底
- ・健康安全への自己管理能力の育成

開かれた学校づくりプロジェクト 磨きあいプラン

桜学園小中一貫教育の推進

- 研究推進部会
- ・令和6年度研究発表会に向けての研究の中心を担う。課題提示と単元構成に視点を置いた授業実践の推進
- 自分づくり部会
- ・グリーン作戦、マナーアップ運動など桜学園共同の特別活動の充実
- 健康安全部会
- ・防災意識の高揚のため桜学園合同の地域防災訓練の実施
- 保育園、幼稚園との連携の強化
- 保幼小連携
- ・相互授業参観等の定期的な実施
- ・保幼小連絡会議の実施

◎居場所づくり・絆づくり

どの子どもも参加できたり活躍できたりする「居場所づくり」とおとした授業（づくり）を展開する。個に応じたきめ細やかな指導と、教科横断的な多様な授業の提供を目指す人とかかわりの大切さに気付くことで、自己有用感を獲得させ、子どもたちの「集団づくり」をしていく。特別活動を充実させ、さまざまな体験を経験させたい。

◎豊かな学びの展開

教員の得意分野を伸ばし、児童の多様なニーズに答えるために積極的な教科担任制を取り入れる。チームで指導することで、一人では見逃してしまう恐れのある児童の変化をキャッチし、問題の早期発見・早期解決に努める。また、GIGA端末やICT機器の活用を通じた効果的な授業を展開する。

◎Challenge（挑戦）& Change（変化）

これからの時代に対応するためにも、慣例にとらわれず自分をより成長させるための挑戦や社会や周囲の状況に応じた変化に即座に対応できる資質を高める。

【数値目標】

「確かな学力」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

【数値目標】

「豊かな心」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

【数値目標】

「進んで体力づくり」をしていると答える児童 80%

【数値目標】

「小中一貫教育」等の学校評価アンケートで肯定的な評価の割合 80%

安全で安心な学校

安心・安全な学校環境づくり

- ・防犯諸団体等との連携と保護者への情報提供
- ・危機管理マニュアルの再点検と全職員による共通理解・実践
- ・保護者や地域と連携した学園合同防災訓練の実施

最回避避能力のある児童づくり

- ・児童目線で動く自分の身を守る実践的な訓練の実施

【数値目標】

「自分が怪に気をつけて自分でよく考えて行動している」と答える児童 80%

信頼と活力のある学校

信頼と活力ある学校づくり

- ・学校ホームページ等による積極的な情報発信
- ・学校評価の積極的な活用
- ・三ない運動、適切な会計処理、個人情報保護
- ・CS推進委員会の積極的運営

教職員の資質の向上

- ・働き方改革の視点から、授業の効率化を図るための積極的な教科担任制の導入
- ・個の得意分野を育成するための実践的な職員研修の実施
- ・将来を見通した自己研鑽の推奨と若手教職員の積極的な校務分掌配置

【数値目標】

教育活動のねらいや児童の発言が保護者によく伝わっているという評価の割合が 90%



(本県教育の目標)

- ・ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- ・じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- ・郷土を愛し協力し合う心を育てる

桜学園目標

夢をもち、自立して社会に貢献できる児童生徒の育成

(つくば市の目指す学園・学校)

みんなが幸せを実感できる学園・学校

～自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きした学校～

学校経営方針

心身の健康を目指し「自ら進んで行動する学校」
学校経営3本の柱「命・あいさつ・授業」

【組織目標】

- ・見通しを持たせる単元計画を作成し、学習の基盤となる資質・能力を育み、学力の向上を図る。
- ・心身の健康を目指し、自分のよさを発揮できる場を通して、自己有用感・自己肯定感を高める。

【桜学園研究テーマ】

「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成」

～主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して～

学校教育目標

夢に向かって進む 心豊かでたくましい栗原っ子の育成
～心身を鍛える教育活動の工夫・改善を通して～

目指す学校像

- ・笑顔あふれる学校
- ・誰からも信頼される学校
- ・安全で安心して過ごせる学校
- ・地域とともにある学校

目指す児童像

- ・(かしこい子) よく考え、進んで学ぶ子
- ・(やさしい子) 礼儀正しく、思いやりのある子
- ・(たくましい子) 心身ともに健康で、粘り強くやりぬく子

目指す教師像

- ・明るく、元気な笑顔で向き合える教師
- ・子どもの良さを生かし、伸ばせる教師
- ・体験、知識が豊富な教師
- ・自ら研修し、新たなことに挑戦できる教師

《知育プラン》

◇◇かしこい子の育成◇◇

【施策】

- ・見通しをもった単元計画による学習の展開
- ・「問い」となる課題設定の工夫「教えから学びへ」
- ・効果的な学習形態の工夫
- ・ICT機器を活用した授業展開の工夫
- ・読書活動の推進

【数値目標】

- ・県学力診断テスト 県比+2
- ・読書 50冊 80%



《徳育プラン》

◇◇やさしい子の育成◇◇

【施策】

- ・朝のあいさつ運動の推進
- ・道徳の学びを实践する体験活動の充実
- ・たてわり活動による人間関係づくり
- ・自主的な活動を促す会社活動・キッズイベントの活性化
- ・学校生活アンケート、教育相談の実施

【数値目標】

- ・あいさつができる 90%
- ・学校が楽しい 90%



《体育プラン》

◇◇たくましい子の育成◇◇

【施策】

- ・体育の授業の創意工夫と外遊びの奨励
- ・体幹、バランスの強化
- ・学級遊び、たてわり班遊びの充実
- ・けが予防のための学習教室の実施
- ・早寝、早起き等の生活リズム徹底
- ・交通安全教室、防災訓練等の実施

【数値目標】

- ・体力テストA+B 62%
- ・早寝早起き朝ご飯 95%



《家庭・地域・学園との連携》

- ・積極的な情報発信、情報収集
- ・地域の人的・物的資源の活用
- ・学校評価の充実・活用
- {家庭} 健やかな心身を育てる場
あいさつ、手伝い、家庭学習の習慣化
- {地域} 地域の子どもを育てる場
子供会、地域行事、地域の安全
- {学園} 小中・小中間の連携・協議
保幼との連携・接続推進

《安全・安心な学校づくり》

- ・危機管理マニュアルの周知と共通理解
- ・安全点検の実施と速やかな反応
- ・校舎内外の見回り、看護の徹底
- ・交通安全：歩行、横断、ヘルメット
- ・生活安全：安全な過ごし方の指導
- ・災害安全：防災訓練、危機の余地・回避能力の育成
- ・登下校時の見守りの協力依頼
- ・防災連絡会議、引き渡し訓練の実施

《教職員の資質能力向上》

- ・研究テーマに沿った授業研究による授業力の向上
- ・自己肯定感を高めるための学級経営(児童理解)力の向上
- ・各種研究会への積極的参加による力量形成
- ・教育公務員としてのコンプライアンスの確立
- ・働き方改革と教職員のメンタルヘルスケア(目標：残業時間全員月45時間以内)

令和5年度 学校経営全体構想(グランドデザイン)

桜学園 つくば市立桜中学校

<p>【茨城県教育の目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう ○じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う ○郷土を愛し協力しあう心を育てる 	<p>【本学園の教育目標】</p> <p>夢をもち、自立して社会に貢献する 児童・生徒の育成</p> <p>【本校の教育目標】</p> <p>大志と信念をもち やさしく たくましく 社会に貢献する生徒の育成</p> <p>【校訓】・誠実・自律・創造</p>	<p>【つくば市の目指す学園・学校像】</p> <p>『みんなが幸せを実感できる 学園・学校』</p> <p>～自己実現できる学校 ・みんなで支え合い、 みんなが生き生きとした学校～</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>【めざす生徒像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分にできることを考え実行できる社会力のある生徒 ○大きな夢をもち、真剣に努力する生徒 ○豊かな心をもち、多くの感動を体験する生徒 ○礼儀を重んじ、明るくさわやかに生活する生徒 	<p>【めざす学校像】</p> <p><夢・感動のある楽しい学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒にとって、授業がよくわかり、学ぶ楽しさが味わえる学校 ○教師にとってやりがいのある学校 ○保護者や地域から信頼される学校 	<p>【めざす教師像】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒に寄り添い、生徒と共に歩む教師 ○研修に励み、授業で勝負できる教師 ○保護者や地域の願いを知り、信頼に応えられる教師 ○人と人とのつながりを大切にする社会力のある教師
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【経営の理念】

- 生徒一人一人の夢の実現のため、共に学び、共に磨き、共に鍛え、共に育てる学校づくり
- 社会の変化に対応した特色ある教育活動を展開し、確かな学力の定着を図る「生きる力・社会力」の育成
- 生徒会活動の活性化を図り、自分たちの生活を自分たちで改善していこうとする意識や態度の育成
- いじめや不登校生徒を出さない積極的なかわりのできる専門性と指導力の向上に努める「チーム桜」
- 家庭や地域の教育力を生かし、信頼と活力を育む「チーム桜」

【令和5年度 教育活動スローガン】

夢を見て、夢を追いかけて、夢をかなえる！

～ 夢を育む教育を推進し、夢の実現に向けて「本気」で取り組む生徒を育てる ～

<p>学園研究テーマ</p>	<p>自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成</p> <p>～ 主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して ～</p>
----------------	----------------------------------------------------------------------

確かな学力

豊かな心

健康・体力

<p>自己の可能性に挑戦する生徒の育成 (小中一貫教育：実践研究部会)</p>	<p>心豊かで誠実に行動する生徒の育成 (小中一貫教育：自分づくり部会)</p>	<p>健康で活力に満ちた生徒の育成 (小中一貫教育：健康安全部会)</p>
<p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○能力や個に応じたきめ細かな指導と主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善 	<p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人一人が達成感や成功感を味わえる感動体験を伴う教育活動の実践 	<p>【重点目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康や安全に関する正しい知識と生活習慣を身につけさせる教育活動の実践
<p>【具現化のための取組】</p> <p><教えから学びへ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○小中一貫教育の推進による「わかる楽しい授業づくり」 <ul style="list-style-type: none"> ・探究型及び課題解決型学習の推進 ・少人数指導及びTT指導の充実 ・ICT機器の効果的な活用 ・学力向上プロジェクトを生かした授業力の向上(学び方) ○つくばスタイル科学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域人材、素材の活用 ・自立を促すキャリア教育の充実 ○家庭学習の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携強化 ・家庭学習の手引きの利用 ○アフタースクールの充実 	<p>【具現化のための取組】</p> <p><管理から自己決定へ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学年・学級経営の充実及び感動のある学校行事の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・学年・学級の絆づくり ・無言清掃の推進 ・学年集会の活性化 ・主体的な生徒会活動の推進 ○生徒指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の定着 ・学業指導と教育相談の充実 ・約束ファイトの徹底 ○心の教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・特別な教科道徳の時間の創意工夫 ・ボランティア活動の充実 ・マナーアップ運動の推進 ・いじめゼロフォーラムの実施 	<p>【具現化のための取組】</p> <p><健康を保持増進する自己管理へ></p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康教育の推進と危機管理体制の確立 <ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進(早寝・早起き・朝ごはん) ・栄養職員による食育の指導 ・学校安全の充実 ・健康安全への自己管理能力の育成 ・感染症対応と新しい生活様式の実践 ○部活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・礼儀・規範・耐性・連帯感の育成 ・心身の鍛錬と健康増進 ○体力づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・体育行事での小中交流 ○非常災害等への対応能力の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同の防災訓練 ・地域防災の意識化

信頼される開かれた学校づくりの推進

- 家庭・地域との連携
 - ・オープンスクール、学校行事の公開
 - ・各種たより(学園だより、学校だより、学年・学級だより、保健だより等)
 - ・学校IPの充実
 - ・地域の人材活用
 - ・PTA奉仕作業、地域奉仕作業の実施
 - ・環境IEC運動
 - ・桜学園コミュニティ・スクール推進会議の開催
- コンプライアンス意識の向上(服務規律の確認、ボトムアップ型研修の充実、より良い職場環境づくり)

働き方改革の推進に向けて

- ・定時退勤日の実施
- ・行事内容の精選
- ・部活動の複数顧問制
- ・週時程の見直し
- ・年休取得の促進
- ・業務改善やスリム化による勤務時間の適正化
- ・学校閉庁日の設定(夏季休業日、冬季休業日)

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回桜学園コミュニティ・スクール（CS）推進会議		
開催日時	令和5年6月28日 開会9:30 閉会11:30		
開催場所	桜学園つくば市立栄小学校 CAI室		
事務局（担当課）	教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野村光良、中埜貴元、水谷浩子、後藤美千代、鈴木清次、橋本幸雄、猪野研一、久松正樹、白砂統己、片岡均、石井かおる、中泉正市、樋口弓子、宮本孝礼、宮本健次、飯岡達郎 桜中学校：校長 嶋田稔 栄小学校：校長 三輪俊一 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 岡野真弓	
	その他	栄小学校：教頭 青木仁昌 九重小学校：教頭 芳賀千重	
	事務局	生涯学習推進課課長補佐 色川純子 地域連携係係長 飯島遊、社会教育主事 渡邊亮太、 地域連携教育指導員 酒井和宏 小島健	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由			
議題	1 学園の教育活動について 2 熟議 「学校の教育活動において、子供たちのために学校と地域が行えることは ～現在における地域の資源・人財・活動等の理解を通して～」 3 その他（推進会議の今後の予定）		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 (1)座長あいさつ (2)学園長あいさつ 2 第1回議事の確認 3 学校見学 4 協議 5 閉会		

＜審議内容＞

- 1 開会 (1) 座長挨拶 (2) 学園長挨拶
- 2 座長より (1) 第1回議事録の確認
- 3 学校見学
- 4 協議

(1) 学園の教育活動について

- ア 各小中学校より ※4月から6月までの教育活動について
- ・学園で実施 挨拶運動
 - ・各学校で実施

(2) 熟議 ファシリテーター：久松副座長

「学校の教育活動において、子どもたちのために学校と地域が行えることは～現在における地域の資源・人財・活動等の理解を通して～」

- ア グループ協議 50分間
イ 情報共有（グループ代表者発表）
ウ 各グループの発表

【第1グループ】

①防災について

- ・桜川の氾濫→冠水する場所あり→危険
⇒普段から児童生徒が桜中に徒歩で避難する訓練が必要

②地域の宝について

- ・児童生徒に地域の良さを認識させ、地域に愛着をもたせる必要
⇒例：栗原の白布…正倉院に納められている租庸調の一つ

③学園に残る自然について

- ・蛍
- ・ワイナリー→金田台の自然の利活用
- ・児童生徒による地元の自然への興味・関心と故郷への思いをもたせる必要性
- ・歴史を知っている人からの学び

【第2グループ】

①地域の力について⇒人材バンクの整備と活用

- ・読み聞かせ、家庭科の授業、奉仕作業、挨拶運動、SNS教育、キャリア教育、地域の自然、地域の建物等
- ・教科名と単元名、どんな人材、専門家が必要か、見通しを立てることの必要性

【第3グループ】

①人材について学校で情報収集、学園で情報共有

- ②非常事態→スマホ使用不可→どうするか、考えておくことの重要性
- ・通学路、駐車スペースなし、環境整備必要

【第4グループ】

①地域の人材バンクについて

- ・部活動指導者、職場体験等
- ・学校が必要なものを地域に周知する方法の熟考

- ・体験学習では、地域の人と共に体験する必要
- ・コミュニケーション能力の向上の重要性

【第5グループ】

- ①教員がやるべきことではないことについて
 - ⇒例：部活動、除草作業、登下校の見守り等
 - ⇒手伝っていただけるとありがたい。しかし、時間が制約される。どうしたらよいか。
- ・人材バンクのリストの必要性
- ・授業参観を兼ねた裁縫（ミシン）や調理実習の授業

【第6グループ】

- ①学校の困りごとについて
 - ⇒回覧板で伝える方法
 - ・地元の企業の活用（地域貢献）
 - ・下校時の安全ボランティア依頼
 - ・外国語を話せる保護者の活用
 - ・筑波大学の学生、国の機関（出前講座）活用
 - ⇒謝礼金の課題
- ②一歩を踏み出す支援体制

(3) その他 CS 推進会議の予定について（九重小 小林校長）

○年4回開催予定

令和5年12月 1日（金）午前中 九重小

令和6年 2月 2日（金）午前中 栗原小

5 閉会

令和5年度第2回桜学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和5年6月28日(水)

9:30～

場所：栄小学校 CAI室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 授業参観

4 協 議

- (1) 前回会議の内容について
- (2) 学園の教育活動について
- (3) 熟議「学校と地域が一緒にできることは」
- (4) 今後の予定について

5 閉 会

令和5年度 桜学園コミュニティ・スクール推進会議

6・28

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
1	(2) 地域住民	野村 光良	のむら みつよし	R5地域学校協働活動推進員 R5桜中後援会長	出席
2	(2) 地域住民	中埜 貴元	なかの たかゆき	国土地理院勤務	出席
3	(2) 地域住民	水谷 浩子	みずたに ひろこ	R4学校評議員	出席
4	(1) 児童・生徒の保護者	五頭 泰誠	ごとう やすまき	R5桜中PTA会長 R5CS推進会議副座長	出席
5	(3) 各学校長・教職員	嶋田 稔	しまだ みのる	R5桜中校長	出席
6	(4) 学識経験者	酒井 政彦	さかい まさひこ	R5地域学校協働活動推進員 主任児童委員 元栄小校長	出席
7	(2) 地域住民	後藤美千代	ごとう みちよ	金田台の生態系を守る会	出席
8	(2) 地域住民	鈴木 清次	すずき せいじ	桜川漁業協同組合代表理事組合長	出席
9	(2) 地域住民	橋本 幸雄	はしもと ゆきお	栄幼稚園園長	出席
10	(1) 児童・生徒の保護者	猪野 研一	いの けんいち	R5栄小PTA会長	出席
11	(4) 学識経験者	久松 正樹	ひさまつ まさき	R4栄小校長R5CS推進会議副座長	出席
12	(3) 各学校長・教職員	三輪 俊一	みわ しゅんいち	R5栄小校長	出席
13	(1) 児童・生徒の保護者	吉田 博	よしだ ひろし	R5地域学校協働活動推進員	欠席
14	(2) 地域住民	白砂 統己	しらすな もとき	R4学校評議員おやじの会会長	出席
15	(2) 地域住民	細田 潤	ほそた じゅん	R4学校評議員	欠席
16	(2) 地域住民	片岡 均	かたおか ひとし	R4学校評議員	出席
17	(1) 児童・生徒の保護者	石井かおる	いしい かおる	R5九重小PTA会長	出席
18	(3) 各学校長・教職員	小林真理子	こばやし まりこ	R5九重小校長	出席
19	(2) 地域住民	中泉 正市	なかいずみ まさいち	元PTA会長 R4学校評議員 学校環境整備	出席
20	(4) 学識経験者	天貝 貢	あまがい みつぎ	R5栗原小地域学校協働活動推進員 元二の宮小校長・P連・民生委員	欠席
21	(2) 地域住民	樋口 弓子	ひぐち ゆみこ	元PTA会長 R4学校評議員 現県PTA連絡協議会役員	出席
22	(2) 地域住民	宮本 孝礼	みやもと たかひろ	郵便局長	出席
23	(4) 学識経験者	宮本 健次	みやもと けんじ	元学校評議員	出席
24	(1) 児童・生徒の保護者	飯岡 達郎	いいおか たつろう	R5栗原小PTA会長	出席
25	(3) 各学校長・教職員	岡野 真弓	おかの まゆみ	R5栗原小校長	出席

五頭座長	久松副座長
------	-------

※この座席表は、熟議のグループも兼ねます。

野村光良

橋本幸雄

五頭泰誠

白砂統己

水谷浩子

石井かおる

三輪俊一

天貝貢

後藤美千代

片岡均

久松正樹

飯岡達郎

中笠貴元

岡野真弓

嶋田稔

宮本孝礼

小林真理子

酒井政彦

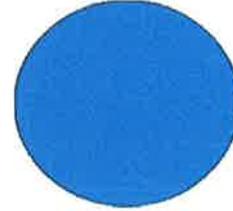
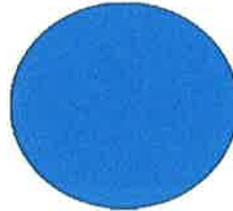
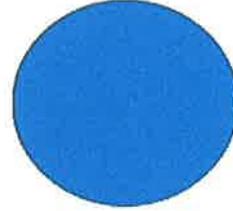
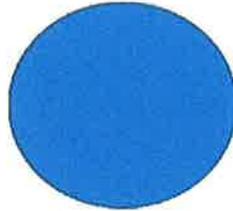
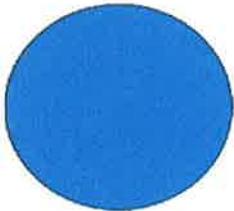
樋口弓子

鈴木清次

宮本健次

猪野研一

中泉正市



傍聴席

入口

地域との連携が可能な事項

桜中学校

1 教科等

- ・ 英語 ALT以外にも、コミュニケーション活動ができる方
- ・ 家庭
実習（ミシンや調理）のサポートをしてくださる方
- ・ キャリア教育
様々な職種の方に講師
職場体験への協力
- ・ 地域学習
防災教育等

2 部活動

- ・ 専門性を有する指導者

3 学校管理

- ・ 除草作業や花壇等の管理をしてくださる方
- ・ 校内を巡回し、生徒への支援をしてくださる方

栄小学校

- ・ 校外学習へサポート（付き添い等）
- ・ 昔の遊びの指導者
- ・ 図工等でのサポート（低学年の道具（グルーガン）・版画・カッター）
- ・ 国際理解教室・リコーダー・そろばん・町探検
- ・ 社会科のボランティア（食糧生産・工場見学等）
- ・ ブックトーク
- ・ 人権教育
- ・ 家庭科の支援（ミシン・調理）
- ・ 命の授業・租税教室
- ・ クリーン作戦（公園掃除）
- ・ 読み聞かせ・登下校

栗原小学校

- ・ 図書ボランティア
- ・ 読み聞かせボランティア
- ・ 登下校安全ボランティア
- ・ 環境整備ボランティア（除草・樹木剪定）
- ・ 教科指導ボランティア（裁縫・ミシン・調理実習・稲作・理科観察・電気モーター・
貝塚見学・命の授業・租税教育・出前授業・リコーダー・消防署
昔の暮らし・そろばん・稚魚放流・ゴミ・人権・星）
- ・ つくスタ外部講師（ヤゴ救出・学校周辺探検・国際理解・エコアクション）

会 議 録

会議の名称		令和5年度第1回桜学園コミュニティ・スクール（CS）推進会議		
開催日時		令和5年5月18日 開会9：30 閉会11：30		
開催場所		桜学園つくば市立桜中学校 会議室		
事務局（担当課）		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野村光良、中埜貴元、水谷浩子、後藤美千代、鈴木清次、橋本幸雄、猪野研一、久松正樹、吉田博、白砂統己、細田潤、片岡均、石井かおる、中泉正市、天貝貢、樋口弓子、宮本孝礼、飯岡達郎 桜中学校：校長 嶋田稔、 教務主任 熊谷悟 栄小学校：校長 三輪俊一、 教務主任 川田玲美 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 岡野真弓		
	その他			
	事務局	教育局長 吉沼正美 学び推進課課長 岡野知樹 学び推進課参事 久松和則 生涯学習推進課課長補佐 色川純子		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 学校運営の基本方針について 2 学校教育活動の紹介 3 熟議「地域を生かした学園づくり」 4 その他（推進会議の今後の予定）		
会議録署名人		確定年月日	年	月 日
会議次第	1 開会 2 選任通知書の交付 3 教育長あいさつ 4 自己紹介 5 つくば市コミュニティ・スクールについて 6 座長・副座長の選出 7 協議			

<審議内容>

- 1 開会
 - 2 選任通知書の交付（吉沼教育局長から代表者へ）
 - ① 選任通知書交付（代表者 天貝委員）
 - ② 地域学校協働活動推進員あいさつ（代表者 野村委員）
3名紹介 吉田委員・天貝委員・酒井委員（欠席）
 - 3 教育長あいさつ（吉沼教育局長が代読）
 - 4 自己紹介
 - 5 つくば市コミュニティ・スクールについて（社会教育主事 渡邊）
 - 6 座長・副座長の選出
座長：五頭委員
副座長：久松委員
 - 7 協議 座長欠席のため、久松委員（副座長）が進行
〈協議1〉
 - (1) 学校運営の基本方針について
 - ① 学園グランドデザイン説明
桜学園長桜中：嶋田校長
 - ② 小学校グランドデザイン説明
栄小：三輪校長 九重小：小林校長 栗原小：岡野校長
 - ③ 中学校グランドデザイン説明
桜中：嶋田校長
 - ④ グランドデザインについて補足（久松副座長）
質疑応答 → なし → 賛同多数（挙手）
 - (2) 学校教育活動の紹介
〈協議2〉
 - ① スポーツフェスティバルについて（野村委員）
 - ② 九重小学区の活動について（吉田委員）
 - 1) 九重小通学路・危険箇所改善の要望
 - 2) おやじの会
 - ③ 栗原小学区の様子について（天貝委員）
 - ・地域住民の協力が得やすい。
 - ・新設校の学区問題が上がっている。
 - ④ 県PTA連絡協議会の現状について（樋口委員）
 - ・先生方が、県P連の活動についてほとんど知らない。
 - ・つくば市の県P連脱退が続いている。
 - ・県P連のHPを必ず見て、情報を得てほしい。
- 休憩 —
- 〈協議3〉 熟議：地域を生かした学園づくり
ファシリテーター：熊谷教務主任（桜中）
テーマ「桜学園の今の子供たちはどのように見えますか」
「CSを通して、学園・小、中学校として、保護者として、地域としてできることは」
- ① グループ協議 20分間
 - ② 情報共有（グループ代表者発表）・児童生徒の実態 ☆対策等

- グループ 1
- ・コミュニケーション能力の低下
 - ・個性が強い。
 - ・地域の中で（外で）遊ばない。
 - ・受け身のな子が多い、指示待ち。
 - ・自転車の乗り方、一か所に集まっている。
- ☆地域・学校・親のコミュニケーションが必要ではないか。
 ☆地域人材を使って（人財バンク）
 ☆体験活動を行わせてあげたい。
- グループ 2
- ・ゲーム時間が長い
 - ・昔よりもおとなしいか
- ☆児童生徒にあいさつをしっかりとさせたい。
 ☆草刈り等、地域活動を入れたい。
- グループ 3
- ・不登校の増加
 - ・体育等でのけがの増加
 - ・外遊び、体力の低下
 - ・虫歯が少なくなった（家庭教育の成果）
- ☆金田台地域の生態調査が進んでいる（筑波大学）。自然観察会への参加をお願いしたい。
- グループ 4
- ・地元外から入ってきた住民が増えている。多様性を重視してほしい。
 - ・児童生徒と教師の信頼関係をより強めたい。
- グループ 5
- ☆不登校対応が必要
 - ☆防災教育
 - ☆地域行事への参加
- グループ 6
- ・コミュニケーション不足。先生は、忙しい手を止めて、子供の話をお聴いてほしい。
 - ・あいさつできない。
 - ・栄・九重・栗原で、地域、子供たちの様子は違う。お互いに情報共有をしていくことが大切。
- ☆不登校問題。子供が学校に合っていないのか？多様性を含めて、視点を変えて話し合っていかなければならない。
- 〈その他〉CS 推進会議の予定について（栄小三輪校長）
- 年 4 回開催予定
- 令和 5 年 6 月 28 日（水）午前中 栄小
 令和 5 年 12 月 1 日（金）九重小
 令和 6 年 2 月 2 日（金）栗原小

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回桜学園コミュニティ・スクール（CS）推進会議		
開催日時	令和5年12月1日（金） 開会 9:30 閉会 11:30		
開催場所	桜学園つくば市立九重小学校 会議室		
事務局（担当課）	教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野村光良、中埜貴元、水谷浩子、五頭泰誠 酒井政彦、鈴木清次、猪野研一 久松正樹、吉田博、白砂統己、片岡均、 石井かおる、中泉正市、樋口弓子、宮本孝礼 宮本健次、飯岡達郎 桜中学校：校長 嶋田稔、 栄小学校：校長 三輪俊一 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 岡野真弓	
	その他	教頭 芳賀千恵、教頭 佐伯鉄夫	
	事務局	教育局次長 久保田靖彦 社会教育主事 渡邊亮太、社会教育主事 村上和宏 地域連携教育指導員 酒井和宏、地域連携教育指導員 小島健	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由			
議題	1 前回の会議の内容について 2 学園の教育活動について 3 熟議「学校の教育活動において、子供たちのために学校と地域が行えることは」 4 その他（推進会議の今後の予定）		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会（1）座長あいさつ （2）学園長あいさつ 2 授業参観 3 第2回議事の確認 4 協議 5 閉会		

＜審議内容＞

- 1 開会 (1) 座長あいさつ (2) 学園長あいさつ
- 2 授業参観
- 3 第2回議事の確認
- 4 協議
 - (1) 桜学園の教育活動の報告(学校、地域、保護者より)
 - ・各学校の7月～12月までの教育活動について
 - (2) コミュニティースクールの「ねらい」や「方向性」についての再確認
 - (3) 熟議 ファシリテーター：久松副座長

〈協議1〉

テーマ「学校の教育活動において、子供たちのために学校と地域が行えることは」

 - ① グループ協議 50分間
 - ② 情報共有(グループ代表者発表)

グループ1(栗原小学校)

 - ・地域の方で学校のサポート(登下校の見守り、図書ボランティア、草刈等)
 - ・大学生の活用
 - ・保幼小の更なる連携(合同運動会等)
 - ・生涯福祉事業所との連携
 - ・高齢者との農業体験
 - ・バザーの実施

☆地域・学校とのコミュニケーションが必要ではないか。
☆地域人材を使つての体験活動を行わせてあげたい。

グループ2(栄小学校)

 - ・地域でできることの再確認
 - ・行事の継続(経験不足、自己肯定感が弱い・自然の活用)
 - ・褒める場を作る

グループ3(九重小学校)

 - ・人材バンクの整備(学校に関わる仕組みの整備)
 - ・環境整備の簡素化
 - ・G Tの出前授業(大学生等)
 - ・防災訓練、通学路点検
 - ・おやじの会の活動(祭り、バザー)→地域の活性化
 - ・伝統文化の伝承

グループ4(桜中学校)

 - ・駐車場の不足
 - ・部活動の外部コーチの人材の確保

〈その他〉CS推進会議の予定について(栗原小岡野校長)

○第4回開催予定 令和6年2月2日(金) 栗原小
- 5 閉会

令和5年度第3回桜学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和5年12月1日(金)

9:30～

場所：九重小学校 図工室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 授業参観

4 協 議

(1) 前回会議の内容について

(2) 学園の教育活動について

(3) 熟 議

「学校の教育活動において、子供たちのために学校と地域が行えることは」

(4) 今後の予定について

(5) そ の 他

5 閉 会

令和5年度 桜学園コミュニティ・スクール推進会議
(第3回:12月1日 金曜日) 受付名簿

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
1	(2) 地域住民	野村 光良	のむら みつよし	R5地域学校協働活動推進員 R5桜中後援会長	出席 欠席
2	(2) 地域住民	中埜 貴元	なかの たかゆき	国土地理院勤務	出席 欠席
3	(2) 地域住民	水谷 浩子	みずたに ひろこ	R4学校評議員	出席 欠席
4	(1) 児童・生徒の保護者	五頭 泰誠	ごとう やすまさ	R5桜中PTA会長 R5CS推進会議座長	出席 欠席
5	(3) 各学校長・教職員	嶋田 稔	しまだ みのる	R5桜中校長	出席 欠席
6	(4) 学識経験者	酒井 政彦	さかい まさひこ	R5地域学校協働活動推進員 主任児童委員 元栄小校長	出席 欠席
7	(2) 地域住民	後藤 美千代	ごとう みちよ	金田台の生態系を守る会	出席 欠席
8	(2) 地域住民	鈴木 清次	すずき せいじ	桜川漁業協同組合代表理事組合長	出席 欠席
9	(2) 地域住民	橋本 幸雄	はしもと ゆきお	栄幼稚園園長	出席 欠席
10	(1) 児童・生徒の保護者	猪野 研一	いの けんいち	R5栄小PTA会長	出席 欠席
11	(4) 学識経験者	久松 正樹	ひさまつ まさき	R4栄小校長 R5CS推進会議副座長	出席 欠席
12	(3) 各学校長・教職員	三輪 俊一	みわ しゅんいち	R5栄小校長	出席 欠席
13	(1) 児童・生徒の保護者	吉田 博	よしだ ひろし	R5地域学校協働活動推進員	出席 欠席
14	(2) 地域住民	白砂 統己	しらすな もとき	R4学校評議員おやじの会会長	出席 欠席
15	(2) 地域住民	細田 潤	ほそた じゅん	R4学校評議員	出席 欠席
16	(2) 地域住民	片岡 均	かたおか ひとし	R4学校評議員	出席 欠席
17	(1) 児童・生徒の保護者	石井 かおる	いしい かおる	R5九重小PTA会長	出席 欠席
18	(3) 各学校長・教職員	小林 真理子	こばやし まりこ	R5九重小校長	出席 欠席
19	(2) 地域住民	中泉 正市	なかいずみ まさいち	元PTA会長 R4学校評議員 学校環境整備	出席 欠席
20	(4) 学識経験者	天貝 貢	あまがい みつぎ	R5栗原小地域学校協働活動推進員 元二の宮小校長・P連・民生委員	出席 欠席
21	(2) 地域住民	樋口 弓子	ひぐち ゆみこ	元PTA会長 R4学校評議員 現県PTA連絡協議会役員	出席 欠席
22	(2) 地域住民	宮本 孝礼	みやもと たかひろ	郵便局長	出席 欠席
23	(4) 学識経験者	宮本 健次	みやもと けんじ	元学校評議員	出席 欠席
24	(1) 児童・生徒の保護者	飯岡 達郎	いいおか たつろう	R5栗原小PTA会長	出席 欠席
25	(3) 各学校長・教職員	岡野 真弓	おかの まゆみ	R5栗原小校長	出席 欠席

五頭座長

図工室

野村光良 水谷浩子

酒井政彦 鈴木清次 橋本幸雄

中泉正市 樋口久子 宮本孝礼

桜中

栄小

栗原小

中埜貴元 嶋田稔

猪野研一 三輪俊一 久松正樹

宮本健次 岡野真弓 飯岡達郎

傍聴席

吉田博 白砂統己 片岡均

九重小

石井かおる 小林真理子

出入口

「生きる力」の育成



共に学ぶ



学び合い・教え合い



学び合い・教え合い

共に磨く



小中連携豊かな心育成事業



学園あいさつ運動

共に鍛える



桜中体育祭



学園スポーツ交流大会



桜学園

学園要覧 令和5年度

夢を持ち、自立して社会に貢献できる児童・生徒の育成



栄小学校



九重小学校



桜中学校



栗原小学校

桜学園 つくば市立

栄小学校	つくば市金田54	〒305-0018	TEL029-857-2037	FAX029-857-6179
	<HP> http://www.tsukuba.ed.jp/~sakae/		<E-mail> sakae01@tkb.ed.jp	
九重小学校	つくば市上ノ室2126	〒305-0023	TEL029-857-2036	FAX029-857-6209
	<HP> http://www.tsukuba.ed.jp/~kokonoe/		<E-mail> koko01@tkb.ed.jp	
栗原小学校	つくば市栗原2018	〒305-0001	TEL029-857-2049	FAX029-857-6315
	<HP> http://www.tsukuba.ed.jp/~kurihara/		<E-mail> kuri01@tkb.ed.jp	
桜中学校	つくば市さくらの森32	〒305-0019	TEL029-857-2038	FAX029-857-6342
	<HP> http://www.tsukuba.ed.jp/~sakura/		<E-mail> sakura01@tkb.ed.jp	

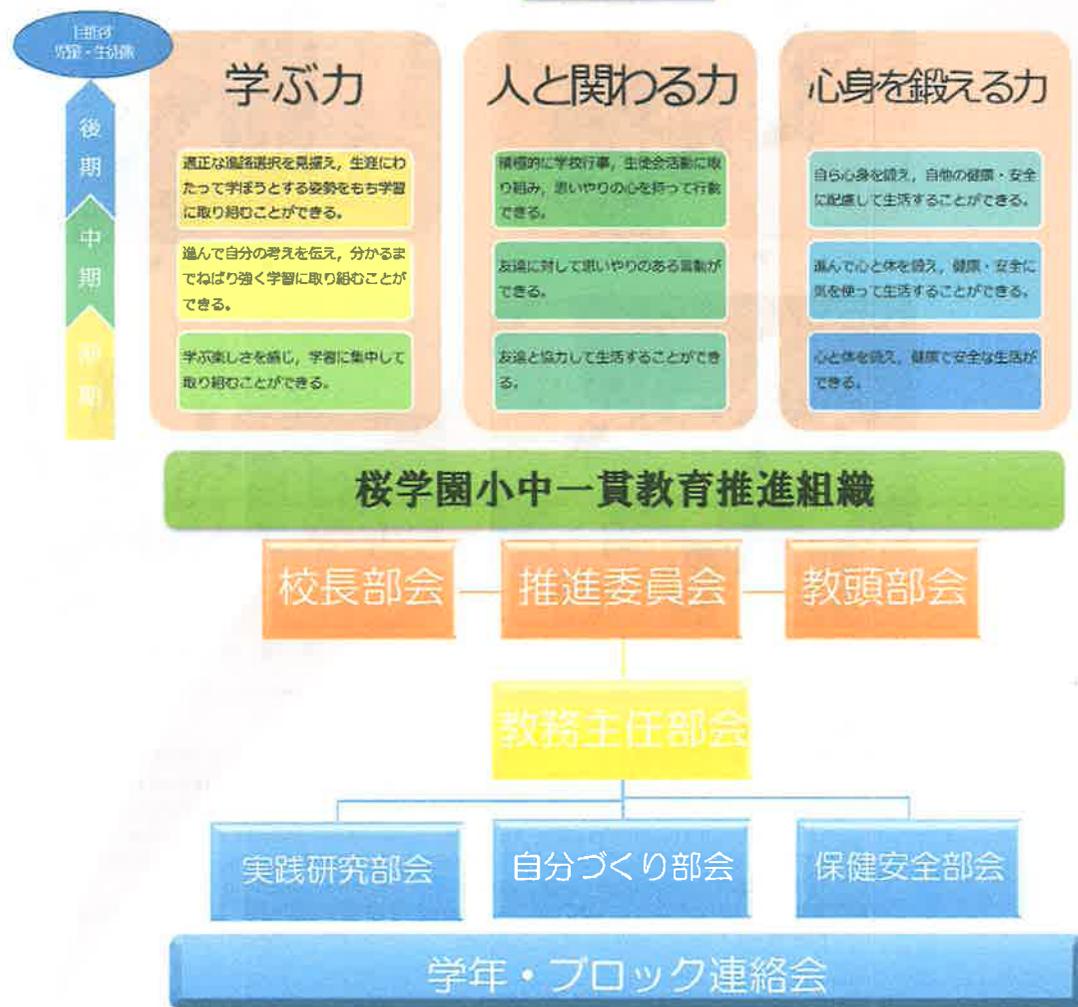
桜学園が進める小中一貫教育

つくば市教育の
基本理念

夢に向かってよき未来をひらく
「学び」の実現

輝く未来

研究テーマ「自ら学ぶ意欲をもち、考えを深め合う児童生徒の育成」



具体的な取組

実践研究部会

- ☆主体的に学ぶための課題設定と単元構成の工夫を通して
- ☆「主体的・対話的で深い学び」のある授業実践
- ☆「学習系統表」「指導の構想・重点」の活用
- ☆学園共通の「学習の手引き」の活用
- ☆「UDの視点による授業改善」マニュアル活用
- ☆桜学園漢字・計算力テスト、ことわざ検定
- ☆つくばスタイル科と各教科・領域を関連させた授業実践(キャリアパスポートの活用)
- ☆小小、小中連携授業
- ☆発信型プロジェクト学習
- ☆考えを深め合う活動
- ☆桜学園クリーン作戦



7年生徒の交流



小中連携
(3年8年防災授業)

自分づくり部会

- ☆桜学園共通 生活目標の実践
- ☆生徒指導部会での情報交換
- ☆小中連絡会(6年・7年, 6年・9年)
- ☆桜学園マナーアップ運動
- ☆桜学園いじめゼロフォーラム
- ☆みんなのやくそくファイブの実践
- ☆生徒指導系統表の活用



あいさつ運動(小中合同)

健康安全部会

- ☆桜学園共通 健康安全目標の実践
- ☆地域防災訓練の実施
(引き渡し訓練, 桜学園防災連絡会議)
- ☆地域の人材を生かした防災
- ☆9年間を見通した体力づくり
(体力テストの分析と体力向上の共通実践)



学園防災連絡会議

会 議 録

会議の名称		令和5年度第4回桜学園コミュニティ・スクール(CS)推進会議		
開催日時		令和6年2月2日 開会9:30 閉会11:30		
開催場所		桜学園つくば市立栗原小学校 会議室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野村光良、中埜貴元、酒井政彦、吉田博、白砂統己、 中泉正市、天貝貢、樋口弓子、宮本孝礼、宮本健次、 飯岡達郎 桜中学校：校長 嶋田稔 栄小学校：校長 三輪俊一 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 岡野真弓		
	その他	桜中学校：教頭 先崎敬広 栗原小学校：教頭 佐伯鉄夫		
	事務局	生涯学習推進課 課長 澤頭由紀子 生涯学習推進課 係長 飯島遊 生涯学習推進課 社会教育主事 村上和宏 地域連携教育指導員 酒井和宏 小島健		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 前回の会議の内容について 2 学園の教育活動について 3 熟議「学校の教育活動における今年度の成果と課題」 4 今後の予定について 5 その他		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 授業参観 4 協議 5 閉会			

<審議内容>

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 授業参観
- 4 協議

(1) 前回の会議内容について

桜学園の教育活動の報告（学校、地域、保護者より）

- ① 各学校の12月～1月までの教育活動について
 - ・ 各学校で新入生保護者説明会を実施

(2) 学園の教育活動について

(3) 熟議 ファシリテーター：嶋田校長（桜中）

「学校の教育活動における今年度の成果と課題」

① 各校の学校評価(保護者アンケート)の結果の説明

ア 桜中（嶋田校長）

- ・ スポーツ・運動への取組 昨年比＋9%
- ・ 家庭での手紙・提出物の確認 昨年比＋8%
- ・ 校舎、校庭など美しい環境が保たれている 昨年比－8%
- ・ わかりやすい授業 69%→授業改善に努めている
- ・ 学校が楽しい 85%

イ 栄小（三輪校長）

- ・ 16項目が80%以上の肯定的が16項目、90%以上が8項目
- ・ 子どもたちの居場所づくり・絆づくりという組織目標
- ・ 保護者に見えにくい部分について学校だよりの配信
- ・ 本を読んでいる、学習時間 50%以下→家庭の協力を得ながら
- ・ 体力向上が課題→養護教諭、体育部職員と対策検討

ウ 九重小（小林校長）

- ・ 組織目標「自ら学び伝え合いよさを認め高め合うことができる児童の育成」に照らし合わせて
- ・ 基礎学力が身に付いている87% 「学び」
- ・ 楽しく学校に通っている90% 友達と仲良くしている95%
→ 自己有用感、自己肯定感 「伝え合いよさを認め高め合う」
- ・ 学習意欲77% →「自ら学ぶ」意欲を高める工夫

エ 栗原小（岡野校長）

- ・ 校舎、校庭など美しい環境が保たれている 91%
→PTAの力添え、保護者・地域の方の力添え
- ・ 保健体育、心身の向上、不登校対策、体力づくりに力を入れて研修を進めてきた
- ・ 課題だった家庭学習への取組が向上した
- ・ 読書への取組が課題、本よりタブレットに手が伸びてしまう

オ 学校評価の結果の説明への質問や意見

- ・ 調査は紙媒体での実施か → foamsで実施、匿名
- ・ 質問項目に少し違いがあるが → 基本は学園で合わせている

② グループ協議

③ 情報共有（各グループ代表者発表）

ア 第1グループ（栄小）

- ・ 学校評価で出された内容はグランドデザインに反映されている
→ いかに関員、地域、保護者に周知し、協力を得ていくか
- ・ 次年度CSで地域を巻き込んで、本校の低い子どもの意欲の部分
を向上させていくかが大切

イ 第2グループ（九重小）

- ・ 学校での教育をすすめるとともに、それを支えるためにPTA
活動の見直し、地域での協働、イベントの開催などを土台として
協力を得ていく
- ・ 地域・保護者の協力を得るための周知し、全員で協働していく
システムが必要

ウ 第3グループ（栗原小）

- ・ グランドデザインの周知のためのHP、スクリーン等の活用
- ・ 目指す児童生徒像に照らし合わせた学校評価項目の中で、数値
化できるものとできないものとあり難しい
- ・ CSを進めている学校は、SDGsの17番パートナーシップを入れて
いってよいのでは

エ 第4グループ（桜中）

- ・ 地域人材を活用し、学校をサポートしていくための「人材バン
ク」の組織が必要
- ・ 8学年で地域事業所にお世話になっての職場体験学習の推進
- ・ 心の教育について、地域の方と進めるボランティア活動
- ・ 部活動の地域移行に向けた連携

(4) 今後の予定について

- 次年度、CS協議会について

4 閉会

令和5年度 第4回桜学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和6年2月2日(金)

9:30～

場所：栗原小学校 会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 授業参観

4 協 議

(1) 前回会議の内容について

(2) 学園の教育活動について

(3) 熟 議

「学校の教育活動においての今年度の成果と課題」

・学校評価アンケートの結果より（保護者）

(4) 今後の予定について

(5) そ の 他

5 閉 会

令和5年度 第4回桜学園コミュニティ・スクール推進会議

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
1	(2) 地域住民	野村 光良	のむら みつよし	R5地域学校協働活動推進員 R5校中後援会長	出席
2	(2) 地域住民	中埜 貴元	なかの たかゆき	国土地理院勤務	出席
3	(2) 地域住民	水谷 浩子	みずたに ひろこ	R4学校評議員	欠席
4	(1) 児童・生徒の保護者	五頭 泰誠	ごとう やすまさ	R5校中PTA会長 R5CS推進会議座長	欠席
5	(3) 各学校長・教職員	嶋田 稔	しまだ みのる	R5校中校長	出席
6	(4) 学識経験者	酒井 政彦	さかい まさひこ	R5地域学校協働活動推進員 主任児童委員 元栄小校長	出席
7	(2) 地域住民	後藤 美千代	ごとう みちよ	金田台の生態系を守る会	欠席
8	(2) 地域住民	鈴木 清次	すずき せいじ	桜川漁業協同組合代表理事組合長	欠席
9	(2) 地域住民	橋本 幸雄	はしもと ゆきお	栄幼稚園園長	欠席
10	(1) 児童・生徒の保護者	猪野 研一	いの けんいち	R5栄小PTA会長	欠席
11	(4) 学識経験者	久松 正樹	ひさまつ まさき	R4栄小校長 R5CS推進会議副座長	欠席
12	(3) 各学校長・教職員	三輪 俊一	みわ しゅんいち	R5栄小校長	出席
13	(1) 児童・生徒の保護者	吉田 博	よしだ ひろし	R5地域学校協働活動推進員	出席
14	(2) 地域住民	白砂 統己	しらすな もとき	R4学校評議委員おやじの会会長	出席
15	(2) 地域住民	細田 潤	ほそた じゅん	R4学校評議員	欠席
16	(2) 地域住民	片岡 均	かたおか ひとし	R4学校評議員	欠席
17	(1) 児童・生徒の保護者	石井 かおる	いしい かおる	R5九重小PTA会長	欠席
18	(3) 各学校長・教職員	小林 真理子	こばやし まりこ	R5九重小校長	出席
19	(2) 地域住民	中泉 正市	なかいずみ まさいち	元PTA会長 R4学校評議員 学校環境整備	出席
20	(4) 学識経験者	天貝 貢	あまが い みつぎ	R5栗原小地域学校協働活動推進員 元二の宮小校長・P連・民生委員	出席
21	(2) 地域住民	樋口 弓子	ひぐち ゆみこ	元PTA会長 R4学校評議員 現県PTA連絡協議会役員	出席
22	(2) 地域住民	宮本 孝礼	みやもと たかひろ	郵便局長	出席
23	(4) 学識経験者	宮本 健次	みやもと けんじ	元学校評議員	出席
24	(1) 児童・生徒の保護者	飯岡 達郎	いいおか たつろう	R5栗原小PTA会長	出席
25	(3) 各学校長・教職員	岡野 真弓	おかの まゆみ	R5栗原小校長	出席

吉田 座長代理

野村 光良	桜	桜
	中	中

中埜 貴元

嶋田 稔

宮本 健次	栗	栗
中泉 正市	原	原
天貝 貢	小	小
飯岡 達郎		

岡野 真弓

樋口 久子

宮本 孝礼

白砂 統己	九	九
	重	重
片岡 均	小	小

小林 真理子

酒井 政彦	栄	栄
	小	小

橋本 幸雄

三輪 俊一

入口

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回桜学園コミュニティ・スクール（CS）推進会議		
開催日時	令和5年12月1日（金） 開会 9:30 閉会 11:30		
開催場所	桜学園つくば市立九重小学校 会議室		
事務局（担当課）	教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野村光良、中埜貴元、水谷浩子、五頭泰誠 酒井政彦、鈴木清次、猪野 研一 久松正樹、吉田博、白砂統己、片岡均、 石井かおる、中泉正市、樋口弓子、宮本孝礼 宮本健次、飯岡達郎 桜中学校：校長 嶋田稔、 栄小学校：校長 三輪俊一 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 岡野真弓	
	その他	教頭 芳賀 千恵、教頭 佐伯 鉄夫	
	事務局	教育局次長 久保田靖彦 社会教育主事 渡邊亮太、社会教育主事 村上和宏 地域連携教育指導員 酒井和宏、地域連携指導員 小島健	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由			
議題	1 前回の会議の内容について 2 学園の教育活動について 3 熟議「学校の教育活動において、子供たちのために学校と地域が行えることは」 4 その他（推進会議の今後の予定）		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会（1）座長あいさつ （2）学園長あいさつ 2 授業参観 3 第2回議事の確認 4 協議 5 閉会		

<審議内容>

- 1 開会 （1）座長あいさつ （2）学園長あいさつ
- 2 授業参観
- 3 第2回議事の確認

4 協議

(1) 桜学園の教育活動の報告（学校、地域、保護者より）
・各学校の7月～12月までの教育活動について

(2) コミュニティースクールの「ねらい」や「方向性」についての再確認

(3) 熟議 ファシリテーター：久松副座長

〈協議1〉

テーマ「学校の教育活動において、子供たちのために学校と地域が行えることは」

① グループ協議 50分間

② 情報共有（グループ代表者発表）

グループ1（栗原小学校）

- ・地域の方で学校のサポート（登下校の見守り、図書ボランティア、草刈等）
- ・大学生の活用
- ・保幼小の更なる連携（合同運動会等）
- ・生涯福祉事業所との連携
- ・高齢者との農業体験
- ・バザーの実施

☆地域・学校とのコミュニケーションが必要ではないか。

☆地域人材を使つての体験活動を行わせてあげたい。

グループ2（栄小学校）

- ・地域でできることの再確認
- ・行事の継続（経験不足、自己肯定感が弱い・自然の活用）
- ・褒める場を作る

グループ3（九重小学校）

- ・人材バンクの整備（学校に関わる仕組みの整備）
- ・環境整備の簡素化
- ・GTの出前授業（大学生等）
- ・防災訓練、通学路点検
- ・おやじの会の活動（祭り、バザー）→地域の活性化
- ・伝統文化の伝承

グループ4（桜中学校）

- ・駐車場の不足
- ・部活動の外部コーチの人材の確保

〈その他〉CS推進会議の予定について（栗原小岡野校長）

○第4回開催予定 令和6年2月2日（金）栗原小

5 閉会

会 議 録

会議の名称		令和5年度第4回桜学園コミュニティ・スクール(CS)推進会議		
開催日時		令和6年2月2日 開会9:30 閉会11:30		
開催場所		桜学園つくば市立栗原小学校 会議室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野村光良、中埜貴元、酒井政彦、吉田博、白砂統己、 中泉正市、天貝貢、樋口弓子、宮本孝礼、宮本健次、 飯岡達郎 桜中学校：校長 嶋田稔 栄小学校：校長 三輪俊一 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 岡野真弓		
	その他	桜中学校：教頭 先崎敬広 栗原小学校：教頭 佐伯鉄夫		
	事務局	生涯学習推進課 課長 澤頭由紀子 生涯学習推進課 係長 飯島遊 生涯学習推進課 社会教育主事 村上和宏 地域連携教育指導員 酒井和宏 小島健		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		1 前回の会議の内容について 2 学園の教育活動について 3 熟議「学校の教育活動における今年度の成果と課題」 4 今後の予定について 5 その他		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会 議 次 第	1 開会 2 挨拶 3 授業参観 4 協議 5 閉会			

<審議内容>

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 授業参観
- 4 協議

(1) 前回の会議内容について

桜学園の教育活動の報告（学校、地域、保護者より）

- ① 各学校の12月～1月までの教育活動について
 - ・ 各学校で新入生保護者説明会を実施

(2) 学園の教育活動について

(3) 熟議 ファシリテーター：嶋田校長（桜中）

「学校の教育活動における今年度の成果と課題」

① 各校の学校評価(保護者アンケート)の結果の説明

ア 桜中（嶋田校長）

- ・ スポーツ・運動への取組 昨年比＋9%
- ・ 家庭での手紙・提出物の確認 昨年比＋8%
- ・ 校舎、校庭など美しい環境が保たれている 昨年比－8%
- ・ わかりやすい授業 69%→授業改善に努めている
- ・ 学校が楽しい 85%

イ 栄小（三輪校長）

- ・ 16項目が80%以上の肯定的が16項目、90%以上が8項目
- ・ 子どもたちの居場所づくり・絆づくりという組織目標
- ・ 保護者に見えにくい部分について学校だよりの配信
- ・ 本を読んでいる、学習時間 50%以下→家庭の協力を得ながら
- ・ 体力向上が課題→養護教諭、体育部職員と対策検討

ウ 九重小（小林校長）

- ・ 組織目標「自ら学び伝え合いよさを認め高め合うことができる児童の育成」に照らし合わせて
- ・ 基礎学力が身に付いている87% 「学び」
- ・ 楽しく学校に通っている90% 友達と仲良くしている95%
→ 自己有用感、自己肯定感 「伝え合いよさを認め高め合う」
- ・ 学習意欲77% →「自ら学ぶ」意欲を高める工夫

エ 栗原小（岡野校長）

- ・ 校舎、校庭など美しい環境が保たれている 91%
→PTAの力添え、保護者・地域の方の力添え
- ・ 保健体育、心身の向上、不登校対策、体力づくりに力を入れて研修を進めてきた
- ・ 課題だった家庭学習への取組が向上した
- ・ 読書への取組が課題、本よりタブレットに手が伸びてしまう

オ 学校評価の結果の説明への質問や意見

- ・ 調査は紙媒体での実施か → foamsで実施、匿名
- ・ 質問項目に少し違いがあるが → 基本は学園で合わせている

② グループ協議

③ 情報共有（各グループ代表者発表）

ア 第1グループ（栄小）

- ・ 学校評価で出された内容はグランドデザインに反映されている
→ いかに関員、地域、保護者に周知し、協力を得ていくか
- ・ 次年度CSで地域を巻き込んで、本校の低い子どもの意欲の部分
を向上させていくかが大切

イ 第2グループ（九重小）

- ・ 学校での教育をすすめるとともに、それを支えるためにPTA
活動の見直し、地域での協働、イベントの開催などを土台として
協力を得ていく
- ・ 地域・保護者の協力を得るための周知し、全員で協働していく
システムが必要

ウ 第3グループ（栗原小）

- ・ グランドデザインの周知のためのHP、スクリーン等の活用
- ・ 目指す児童生徒像に照らし合わせた学校評価項目の中で、数値
化できるものとできないものとあり難しい
- ・ CSを進めている学校は、SDGsの17番パートナーシップを入れて
いってよいのでは

エ 第4グループ（桜中）

- ・ 地域人材を活用し、学校をサポートしていくための「人材バン
ク」の組織が必要
- ・ 8学年で地域事業所にお世話になっての職場体験学習の推進
- ・ 心の教育について、地域の方と進めるボランティア活動
- ・ 部活動の地域移行に向けた連携

(4) 今後の予定について

- 次年度、CS協議会について

4 閉会

令和5年度 第4回桜学園コミュニティ・スクール 推進会議

日時：令和6年2月2日(金)

9:30～

場所：栗原小学校 会議室

次 第

1 開 会

2 挨拶

3 授業参観

4 協 議

(1) 前回会議の内容について

(2) 学園の教育活動について

(3) 熟 議

「学校の教育活動における今年度の成果と課題」

・学校評価アンケートの結果より（保護者）

(4) 今後の予定について

(5) そ の 他

5 閉 会

令和5年度 第4回桜学園コミュニティ・スクール推進会議

番号	委嘱の区分	氏名	よみがな	所属・役職	出欠席
1	(2) 地域住民	野村 光良	のむら みつよし	R5地域学校協働活動推進員 R5校中後援会長	出席
2	(2) 地域住民	中埜 貴元	なかの たかゆき	国土地理院勤務	出席
3	(2) 地域住民	水谷 浩子	みずたに ひろこ	R4学校評議員	欠席
4	(1) 児童・生徒の保護者	五頭 泰誠	ごとう やすまさ	R5校中PTA会長 R5CS推進会議座長	欠席
5	(3) 各学校長・教職員	嶋田 稔	しまだ みのる	R5校中校長	出席
6	(4) 学識経験者	酒井 政彦	さかい まさひこ	R5地域学校協働活動推進員 主任児童委員 元栄小校長	出席
7	(2) 地域住民	後藤 美千代	ごとう みちよ	金田台の生態系を守る会	欠席
8	(2) 地域住民	鈴木 清次	すずき せいじ	桜川漁業協同組合代表理事組合長	欠席
9	(2) 地域住民	橋本 幸雄	はしもと ゆきお	栄幼稚園園長	欠席
10	(1) 児童・生徒の保護者	猪野 研一	いの けんいち	R5栄小PTA会長	欠席
11	(4) 学識経験者	久松 正樹	ひさまつ まさき	R4栄小校長 R5CS推進会議副座長	欠席
12	(3) 各学校長・教職員	三輪 俊一	みわ しゅんいち	R5栄小校長	出席
13	(1) 児童・生徒の保護者	吉田 博	よしだ ひろし	R5地域学校協働活動推進員	出席
14	(2) 地域住民	白砂 統己	しらすな もとき	R4学校評議委員おやじの会会長	出席
15	(2) 地域住民	細田 潤	ほそた じゅん	R4学校評議員	欠席
16	(2) 地域住民	片岡 均	かたおか ひとし	R4学校評議員	欠席
17	(1) 児童・生徒の保護者	石井 かおる	いしい かおる	R5九重小PTA会長	欠席
18	(3) 各学校長・教職員	小林 真理子	こばやし まりこ	R5九重小校長	出席
19	(2) 地域住民	中泉 正市	なかいずみ まさいち	元PTA会長 R4学校評議員 学校環境整備	出席
20	(4) 学識経験者	天貝 貢	あまが い みつぎ	R5栗原小地域学校協働活動推進員 元二の宮小校長・P連・民生委員	出席
21	(2) 地域住民	樋口 弓子	ひぐち ゆみこ	元PTA会長 R4学校評議員 現県PTA連絡協議会役員	出席
22	(2) 地域住民	宮本 孝礼	みやもと たかひろ	郵便局長	出席
23	(4) 学識経験者	宮本 健次	みやもと けんじ	元学校評議員	出席
24	(1) 児童・生徒の保護者	飯岡 達郎	いいおか たつろう	R5栗原小PTA会長	出席
25	(3) 各学校長・教職員	岡野 真弓	おかの まゆみ	R5栗原小校長	出席

吉田 座長代理

野村 光良	桜	桜
	中	中

中埜 貴元

嶋田 稔

宮本 健次	栗	栗
中泉 正市	原	原
天貝 貢	小	小
飯岡 達郎		

岡野 真弓

樋口 久子

宮本 孝礼

白砂 統己	九	九
	重	重
片岡 均	小	小

小林 真理子

酒井 政彦	栄	栄
	小	小

橋本 幸雄

三輪 俊一

入口

会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回桜学園コミュニティ・スクール（CS）推進会議		
開催日時	令和5年12月1日（金） 開会 9:30 閉会 11:30		
開催場所	桜学園つくば市立九重小学校 会議室		
事務局（担当課）	教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	野村光良、中埜貴元、水谷浩子、五頭泰誠 酒井政彦、鈴木清次、猪野 研一 久松正樹、吉田博、白砂統己、片岡均、 石井かおる、中泉正市、樋口弓子、宮本孝礼 宮本健次、飯岡達郎 桜中学校：校長 嶋田稔、 栄小学校：校長 三輪俊一 九重小学校：校長 小林真理子 栗原小学校：校長 岡野真弓	
	その他	教頭 芳賀 千恵、教頭 佐伯 鉄夫	
	事務局	教育局次長 久保田靖彦 社会教育主事 渡邊亮太、社会教育主事 村上和宏 地域連携教育指導員 酒井和宏、地域連携指導員 小島健	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由			
議題	1 前回の会議の内容について 2 学園の教育活動について 3 熟議「学校の教育活動において、子供たちのために学校と地域が行えることは」 4 その他（推進会議の今後の予定）		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会（1）座長あいさつ （2）学園長あいさつ 2 授業参観 3 第2回議事の確認 4 協議 5 閉会		

<審議内容>

- 1 開会 （1）座長あいさつ （2）学園長あいさつ
- 2 授業参観
- 3 第2回議事の確認

4 協議

(1) 桜学園の教育活動の報告（学校、地域、保護者より）
・各学校の7月～12月までの教育活動について

(2) コミュニティースクールの「ねらい」や「方向性」についての再確認

(3) 熟議 ファシリテーター：久松副座長

〈協議1〉

テーマ「学校の教育活動において、子供たちのために学校と地域が行えることは」

① グループ協議 50分間

② 情報共有（グループ代表者発表）

グループ1（栗原小学校）

- ・地域の方で学校のサポート（登下校の見守り、図書ボランティア、草刈等）
- ・大学生の活用
- ・保幼小の更なる連携（合同運動会等）
- ・生涯福祉事業所との連携
- ・高齢者との農業体験
- ・バザーの実施

☆地域・学校とのコミュニケーションが必要ではないか。

☆地域人材を使つての体験活動を行わせてあげたい。

グループ2（栄小学校）

- ・地域でできることの再確認
- ・行事の継続（経験不足、自己肯定感が弱い・自然の活用）
- ・褒める場を作る

グループ3（九重小学校）

- ・人材バンクの整備（学校に関わる仕組みの整備）
- ・環境整備の簡素化
- ・GTの出前授業（大学生等）
- ・防災訓練、通学路点検
- ・おやじの会の活動（祭り、バザー）→地域の活性化
- ・伝統文化の伝承

グループ4（桜中学校）

- ・駐車場の不足
- ・部活動の外部コーチの人材の確保

〈その他〉CS推進会議の予定について（栗原小岡野校長）

○第4回開催予定 令和6年2月2日（金）栗原小

5 閉会